

# 今後10年の環境政策の方向性

## 「全社員の幸せを通して、世の中に貢献の輪を広げる」

アドバンテック・レヒューズ社長 堀切 勇真氏



幸福総和ナンパードン企業を目指して

当社は群馬県前橋市にある、産業廃棄物の収集運搬業を軸とした環境コンサルティングを手掛ける会社で、社員数は51名、車両数は25台、提携

している処分場は100社を超えています。設立は1981年12月で、今年30周年を迎えました。当社は経営理念として、「全社員の幸せを通して、世の中に貢献の輪を広げ、幸福総和ナンパードン企業になる」ことを掲げています。この理念を証明する各種の経営指標として、例えば、業界日本一の人件費で、未確認ながら、TKC経営指標に基づく同業黒字企業



パネル討論の様様

年間売上高は3055万2千円と高く、ピーク時の自己資本比率は88・3%で、現在は実質無借金経営です。売り上げ規模も、帝国データバンクの情報によると、産業廃棄物の収集運搬業に特化の企業では日本一となっています。

我々の第一の責任は社員に対するものと認識することが、いかに好循環をもたらすか。幸せな社員が提供するサービスをお客様に喜んで頂ける姿が目に見えますか。そして「足るを知る」として、経営者にとっても会社にとっても、身分不相応な贅沢や挑戦は身を滅ぼします。強い気持ちで過剰な部分を自制し、皆への還元を優先します。お客様だけでなく、処理場様や協力会社様に対しても同様です。執拗な値上げや過度な単価交渉は極力控え、余力あるうちはまず自社利益から捻出する

努力をすべきです。そんな姿を周りは見えています。いつか